

平成29年度 上峰町立上峰小学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
心と智慧と技をとぐ上峰っ子の育成	① 豊かな心の育成 ② 確かな学力の定着 ③ 体験活動を通じた多様な力の育成

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

① 豊かな心の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○開かれた学校	* 開かれた学校づくりの推進	・参観日の保護者出席率を昨年度より増やす。 ・地域の方々との連携や協力を促す。	保護者や地域の方々に、学校だよりや各学年・学級だより等で来校を促すと同時に、携帯電話の「まちコミ」による情報発信を行う。 地域の教材化を図ると共に、各教科で地域の人材を活用する。
	●いじめの問題への対応	* 人権教育の充実	・人のいやがることを言ったりしない児童を90%以上にする。 ・友達には、「さん」や「君」をつける児童を90%以上にする。	生活アンケートを実施し、実態を把握して指導する。 保護者へのアンケートを年に2回実施し、実態把握をして改善に生かす。
	●心の教育	* 人権・同和教育の充実 * 特別活動等の充実 * 道徳授業の充実	・人権・同和教育の推進を図り、どの子も楽しく過ごせる学級・学校づくりを行う。 ・計画的な集会活動や毎月の委員会活動を実施する。 ・道徳授業の工夫改善を図る。また、年1回以上ふれあい道徳を全学級で行う。	参観日にふれあい道徳授業を行い、保護者・地域の方に本校道徳教育の理解を求める。 人権教育をもとに子どもたちの豊かな人間関係を築き、どの子どもにとっても楽しい学級・学校づくりを行う。

② 確かな学力の定着

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力の向上	* 学び方のきまりの徹底 * 確かな学力の育成 * 基礎学力の徹底指導 * 校内研究の充実・推進 * 読書指導の充実	・学習のきまりの達成率は80%をめざす。 ・CRTテストや学習状況調査の結果を分析し、指導に活用する。 ・年間の読書量について一人平均80冊以上をめざし、学年で目標を決めて奨励する。	学習のきまりや学習の基礎・基本を日々の授業で徹底する。 各種テストで全国平均を上回る。 研究授業だけでなく、日常の授業改善を図る。 学年に応じた、読書の量と質が向上するように推進する。
	○教職員の資質向上	* 校内研究(算数科)の充実 * 職員研修の充実 * 参画意識の育成	・研究授業の充実を図る。(研究会:6回) ・職員研修を年5回以上開催する。 ・部会の充実を図る。	毎回講師を招聘し、研究会の充実を図る。 職員の経験や特技を生かした研修を行い、職員相互の情報交換の機会を増やす。
	●教育の質の向上に向けたICT利活用教育の推進	* 機器を活用した授業を全学級で実施	・パソコン室や電子黒板を活用した授業や機器を活用した授業を全学級で実施する。	電子黒板の活用を全学年で行う。 校内で職員研修を実施し、職員のスキルアップを図る。
	○生徒指導・教育相談の充実	* 生活指導・教育相談の充実	・問題行動の発生を未然に防止する。 ・不登校や不登校傾向の児童数を減少させる。	日常の観察指導を徹底すると共に、いじめの実態調査や子どもとの相談活動、家庭との連携・協力で発生の防止に努める。 スクールカウンセラーや関係機関と連携・協力する。

③ 体験活動を通じた多様な力の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
体験活動	○米作り、大豆作りの体験活動の充実	* 地域の方とのふれあいを通して、上峰町のよさを知り将来の上峰を担う児童を育成する。	農業体験(米作り、大豆作り)を充実させ、地域人材を活用した授業等を行う。 ふるさとに根ざした上峰っ子として、自己の生き方を考え、上峰町に貢献する児童を育成する。	米づくり・大豆づくりの体験学習を通じて人々の工夫や苦労を知り、地元の産業のよさを理解させる。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
健康教育	●健康・体づくり	* 歯と口の健康に関して学年に応じた指導を行い、児童・保護者の歯と口の健康づくりに対する意識を高める。	毎日、朝・昼・夜に歯磨きをする習慣を身に付けさせる。 総合的な学習の時間や食育、教科とも関連した指導の計画を見直し実践する。	給食後の歯みがきの取り組みや、歯科衛生士を招いてのブラッシング指導をとおして、歯と口の健康づくりを推進する。また、保健便りなどで、児童や保護者にさらに歯の健康に気を付けるように意識付けをさせる。

●は共通評価項目のうち必須項目、◎は共通評価項目のうち特定課題、○は独自評価項目